

皆様に、最新の**労働災害情報**をおとどけています！

災害発生情報 No.72

2014. 10. 20
(社) 筑西労働基準協会

筑西労働基準監督署管内で発生した労働災害の最新情報をお届けしています。各社の安全衛生管理活動にご活用ください。

【はさまれ災害】

業種	倉庫業	経験	10年	年齢	36歳	男女	男性
発生月	—————	発生時刻	1時30分				
発生状況	リーチフォークリフトでの業務終了後、フォークリフト充電場所にバックで止めようとしたところ、完全に停止する前に降りようとして壁とフォークリフトの間に左足をはさまれた。						
負傷の程度／部位	左足関節骨折			休業見込	3か月		

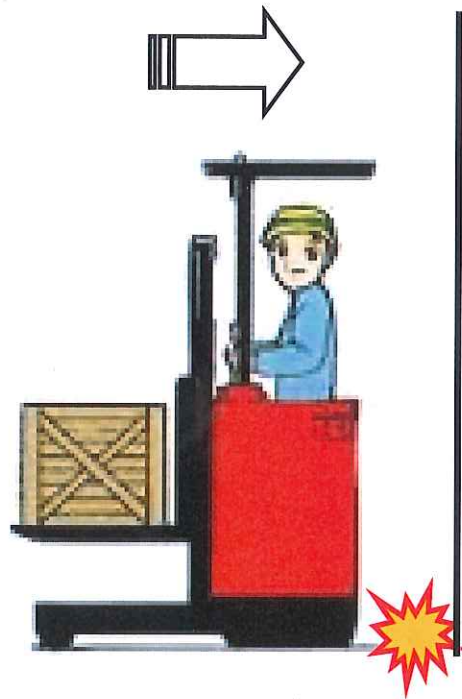
◆ コメント

私たちの手足となって作業をサポートするフォークリフト。しかし安全対策を怠れば、重大な災害の発生原因にもなりかねません。

本件のように**完全に停止していないフォークリフトでの災害は意外に多く**、毎年のように複数の災害が発生しています。

考えられる原因の一つにリーチフォークリフトのような立席タイプの普及が考えられます。カウンターバランスフォークリフトのような乗用タイプは、車と同様に停止しないと降りられません。しかし、立席タイプは直ぐそこに地面があるため、見切りで降りてしまいがち。そこへ数トンもの重量があるフォークリフトが迫ってきます。

フォークリフトが停止する直前というのは、どうしても気が緩みます。その瞬間には**「危険」**が潜んでいます。



◆ 再発防止のアドバイス

- 1 運転手が運転席を離れるときは、アクセルペダルから足を離すだけでなく、変速レバーを中立に戻し、フォークリフトの停止を確認してから降車します。
- 2 充電場所はスペースの関係で壁際などが多いですが、壁際に寄せすぎない、少し離れた位置に設置しましょう。

【お願い】

この記事は、筑西労働基準監督署のご協力により作成し、随時お届けしています。お届けしている災害情報はすべて実際に発生した事件ですが、わかりやすいように一部加工する場合があります。